

もとゆきかわら版

2018年(平成30年)

4月 第35号 発行:年3回

診療報酬改定について

去る2月、3月に韓国・ピョンチャンで開催されました冬期オリンピック・パリンピックでは、日本選手の大活躍により大いに盛り上がり、過去最多のメダルを獲得し、見る者に勇氣と感動を与えてくれるものでした。さあ次は、2020年夏の東京です。

ところで、この4月の診療報酬改定は、診療報酬本体がプラス0.55%、調剤がプラス0.19%とされました。

このうち調剤報酬については、2年前の改定で新設された「かかりつけ薬剤師指導料」及び「かかりつけ薬剤師包括管理料」の算定において、かかりつけ薬剤師の必要性や患者の要望等を確認することを要件に加え、それぞれに点数を引き上げることとしています。

更に、地域包括ケアシステムにおいて地域医療に貢献する薬局に対し、夜間・休日対応や医療機関への服薬情報提供などの地域医療への一定の実績を有し、その支援体制を整備している薬局を評価する「地域支援体制加算」を新設し、これまでの「基準調剤加算」は廃止するとしています。

また、薬剤総合評価調整管理料を算定する医療機関と連携して、6種類以上の内服薬を処方された患者について、2種類以上の減薬を行った場合に算定できる「服用薬剤調整支援料」も新設するとしています。

この他、薬局における対人業務や在宅業務などの地域医療への貢献をより高く評価するものとなっています。他方、いわゆる大型の門前薬局について、特定の医療機関からの処方箋割合の基準を「95%超→85%超」に見直すとともに、同一グループの保険薬局による処方箋受付回数が40万回を超える場合の点数を引き下げることに加え、同一敷地内薬局の調剤基本料を引き下げると、「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けて、すべての薬局が「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮していくことへの大きな期待を示すと同時に、病院敷地内への保険薬局の設置や誘致の動きに一石を投じるものとなりました。

また今回も薬価の大幅引き下げがあり、薬局を取り巻く環境は更に厳しいものとなりそうですが、患者の味方、地域医療・薬物療法の要としての、かかりつけ薬剤師・薬局として街の健康ステーション・薬局の一段高い活性化を図ることを期待しております。

参議院議員

藤井基之

新たな産学連携によるイノベーション創出

もとゆき会会員(元明治製菓(株)取締役) 飯沼勝春

「もとゆき会」の中通慎二会長とは明治製菓時代、当時、北里一郎社長(現在、北里研究所顧問、慶応義塾評議員)の元でともに医薬の研究開発に従事した仲であります。以前から藤井基之先生には医療行政全般、製薬企業における創薬のあり方等についてご助言賜り、大所高所からご指導いただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今回、小生が慶応義塾大学医学部で関わっているJSR・慶応義塾大学医学化学イノベーションセンターの取り組みについて紹介させていただき、合わせて今後の産学連携のあり方について所感を述べたいと思います。

JSR株式会社と慶応義塾は、産・学・医療の連携拠点と位置付ける共同研究棟「JSR・慶応義塾大学 医学化学イノベーションセンター」を設立して共同で運営し医療分野でのグローバルイノベーションの推進に取り組んでいます。

大学医学部と化学素材メーカーとのこのような連携は世界でも類をみない試みです。慶応義塾の医学部を開設された北里柴三郎先生の時代から、連綿と伝承されてきた理念である基礎から臨床まで一体型の先進的な医学・医療を展開している医学部および病院の研究者と、ライフサイエンス領域を戦略事業と位置付けて先端材料・製品の開発を進めるJSRの化学素材研究者とが密に連携することにより、医療分野の幅広いニーズや先進的アイデアを実現し、健康長寿社会を支える新たな診断・治療技術や医療支援技術の確立と普及につながる研究・事業創出を行います。

今年の日本化学会機関紙「化学と工業」の1月号に東京大学の菅裕明教授が「オープンイノベーション機構」大学内に新しい産学連携の場をつくれと題して論説を書いておられるように産学連携も最近では変化してきています。菅教授は、これまでのような一研究室、個人商店的な産学連携では、課題を本質的に解決できなくなり、複数の大学研究者が知恵を出し合い、チームを組んで企業のもつ課題を解決する「チーム課題解決型」連携こそが企業にとって大学との産学連携の最大メリットであると指摘しています。また、オープンイノベーションという「大学一研究室」対「複数企業」と考えがちであるが、逆の「大学複数研究室」対「一企業」も極めて重要な「学内オープン」産学連携であることも述べています。

小生も全く同感であり、この考えを取り入れたような先進的な産学連携が今まさに慶応義塾大学医学部において行われています。今後このような先進的な産学連携が他大学でも積極的に行われ「技術立国日本」の将来に資することを切に願うものであります。



藤井もとゆき国会日記 その1

平成29年12月4日(月)
13時より本会議。

北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議案の採択が行われ全会一致で可決され、続いて安倍総理大臣による所信表明がありました。その後、麻生財務大臣による平成28年度決算の概要報告があり、各会派による関連の質疑が行われました。

平成29年12月8日(金)
10時より厚生労働委員会。
10時10分より沖縄及び北方問題に関する特別委員会。
10時50分より決算委員会。
11時30分より本会議。

各委員会が開かれ、それぞれ会期末処理が行われました。11時30分よりの本会議において、裁判官弾劾裁判所裁判委員の選挙があり、私が裁判員に指名されました。その他、昨日厚生労働委員会で可決されました旅館業法の一部改正法案など10法案について採決が行われ、いずれも可決されました。

平成29年12月20日(水)
11時より臨時の自民党総務会。

自民党総務会に提出された「平成29年度補正予算案」及び「平成30年度予算案」が了承されました。すでに報道されている通り29年度補正予算の歳出追加額は2兆7073億円、30年度予算総額は約97兆7100億円。社会保障費は診療報酬本体0.55%(590億円)、薬価は-1.36%(-1460億円)、材料-0.09%(-100億円)、加えて薬価制度の抜本改革や大型門前薬局等の調剤報酬適正化といった制度改革の実施で(-370億円)、介護報酬改定は0.54%(+140億円)、障害福祉サービス等報酬改定は0.47%(+60億円)とのことです。

平成30年1月1日(月)
新年あけましておめでとうございます。

東京は暖かなお正月です。加えて、夕刻には大きく美しいスーパームーンが見られました。きっといい年になりますよね。本年もよろしくお祈りします！！

1月は各業界団体の賀詞交換会に連日出席させていただきました。



平成30年1月22日(月)
10時より本会議、第196回通常国会が召集されました。
13時より天皇陛下をお迎えし開会式。
15時30分より本会議が再開。

6月20日までの150日間の予定で、第196回通常国会がスタートしました。安倍総理大臣による施政方針演説に続き、河野外務大臣により外交、麻生財務大臣により財政、茂木国務大臣により経済に関する演説がそれぞれ行われました。

平成30年1月24日(水)
厚労省・中医協より500ページに及ぶ診療報酬の個別改定項目が事務局から提示されました。

この各項目の点数数字が決まると検討は終了し、答申となります。地域医療に貢献する薬局の評価「地域支援体制加算」、薬局における対人業務の評価「服用薬剤調整支援料」、いわゆる門前薬局の評価の見直し「調剤基本料」等々は?・・・国民の期待に応える、これからの薬局の絵姿が明確に示される点数設定を求めます。



藤井もとゆき国会日記 その2

平成30年2月1日(木)
15時30分より本会議。

平成30年2月7日(水)
中医協は、平成30年度診療報酬改定を加藤厚生労働大臣に答申しました。

平成30年3月2日(金)
国立医薬品食品衛生研究所新庁舎開所式。



平成30年3月7日(水)
15時より首相官邸において、安倍晋三内閣総理大臣に陳情。



平成30年3月22日(木)
13時より厚生労働委員会にて、国会質問に立ちました。



平成29年度一般会計補正予算、特別会計補正予算についての賛成・反対討論があり、その後採決が行われ可決されました。

診療報酬本体は0.55%アップ、薬価等は1.74%ダウン、その他にいわゆる大型門前薬局に対する評価の適正化等が枠外で実施されるため、トータル医療費はマイナス改定となります。特に調剤報酬は本体0.19%のプラス改定にもかかわらず、大型門前薬局等の調剤基本料の適正化等が大きく響きそうです。加えて薬価の大幅引き下げもあり、薬局を取り巻く環境は厳しいものとなりそうですが、患者の味方、地域医療・薬物療法の要としての、かかりつけ薬剤師・薬局として街の健康ステーション・薬局の一段高い活性化を図りましょう。

明治7年(1874年)に設立された我が国でもっとも古い官営医薬品試験研究機関「東京司薬場」をその起源とする、試験研究拠点「国立医薬品食品衛生研究所」の新庁舎開所式が行われました。場所は、羽田空港対岸の川崎市殿町キングスカイフロント。明治新政府により外国人教師として招聘されたオランダ人薬剤師「アントン ヨハネス ゲールツ」の顕彰碑も移設されています。時代とともにその業務内容は日進月歩、大きな変化はありますが、レギュラトリーサイエンス試験研究拠点として、その業務の重要性は拡大していきます。新たな地で、新たな皮衣の中で今後とも素晴らしい研究活動を期待します。

岡山県国会議員懇談会の一員として来年予定されている「G20 サミット関係閣僚会議の岡山市開催に関する要望」を手に、首相官邸の安倍晋三内閣総理大臣に陳情を行いました。総理は前向きなお言葉でしたが・・・期待しましょう!!

先日の加藤厚生労働大臣の所信に対する質問です。質問内容は、
①社会保障費抑制策として、特に薬価引き下げについて
②平成30年度診療報酬改定における中医協への諮問について
③大型門前薬局、敷地内薬局に対する対応について
④薬学部の新設及び薬剤師の需給動向について
⑤薬物乱用問題について
それぞれ質問を行いました。
なお、薬剤師の需給見通しについては、来年度の補助金事業で検討するとの厚生労働大臣の答弁がなされました。



渡る世間、善人ばかり

もとゆき会会長 中通慎二

会社を辞めてはや7年。組織から離れ、その寂しさと開放感を味わう身になったが、縁あって、いろいろな会社、団体とお付き合いし、様々な方と親交を得た。当然ながら、会社ごとに規模も違えば気風も違う。ともすれば、交際範囲が狭く息苦しい大企業では味わえない経験も。今回はその一端を。

A社は、ある本業の好業績を契機に、今や医薬品開発に乗り出している。本業のおかげで、何せ鼻息が荒い。医薬品ビジネスでは、開発、生産、申請など随所に重たい決断がいるが、ここでは、社長の懐の広さもあって、何事も即断即決。組織や予算の壁もない。人数が少ないせいで、一人が伸び伸びと何役もこなし成長も早い。大企業の安定感もいいが所詮は歯車人生。こんな生き方もいいな、と時々、会議の末席で独りごちている。

B社社長は70歳超の超ワマン。営業所が東京、大阪、仙台にあるが、何事も社長の参画、判断がなくては進まない。なんでも昔、信頼していた部下が自分の目を盗んで悪事を働いた由。でもこのパワー社長、社員への思いやりも人一倍で、みんなから、オヤジさん、と慕われている。先日も、内々に中年域に達した男性社員の縁談を頼まれた。時々電話があるが、用件の後、必ず「例の件、どうなってるやろ」。どうも用件は、隠れ蓑みたいな気がする。

団体Cは、いくつかの国公立研究所OBで構成するNPO法人。重症感染症撲滅や公衆衛生普及に国内はもとより国際機関と連携下、世界各国で活動している。現役時代は、学会や行政に名を轟かせた猛者も、今や好々爺。報酬はわずかでも気宇はすこぶる壮大。私利私欲を忘れて公益に資する日本男児の気概に触れて、もと社益人間としては、反省と感激と。

数年前、拙宅近くで大型施設の建築話が舞い込んだ。早速、ご近所有志で反対同盟を結成、お付き合いの輪ができた。教授、判事、地元名士など異なる人生を紡いできた面々との居酒屋決起集会は、話が弾んで即座に同窓会の趣き。道端で交わす「こんにちは、体調どうですか」は、ささやかでも晴れやかな気分。因みに大型施設は有料老人ホーム。すでに完工し、当方の希望も考慮された構造になっているが、高額で入れそうにない。このホームを眺めながら、ご近所とお茶しつつ余生を送るのも悪くない気がする。

もとゆき会入会の案内

もとゆき会とは、藤井基之先生の政治家としての大成を期するため活動している政治資金規正法に基づく政治団体です。藤井基之先生の政治理念や人柄などに共鳴した人々の「藤井もとゆきファンクラブ」のようなものです。「藤井もとゆき勝手連」とも通称しています。会員になりたい方、関心のある方は、下記の藤井基之事務所にお問い合わせください。

入会金や会費はありませんが、個々の事業や活動の実施に必要な場合は、その都度、費用を会員や参加者から徴収させていただきます。

もとゆき会の活動をご理解いただくために、ホームページを開設いたしておりますので、右記アドレスにアクセスしてみてください。

藤井基之国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 1218 号室
☎ 03-6550-1218
Fax 03-3597-9393

藤井基之浜町事務所

〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町 2-35-7
島鶴ビル 601号
☎ 03-3660-4302
Fax 03-3660-4328

お知らせ

「近しく・親しく 藤井基之先生と懇談 する会」開催ご案内

日時：平成30年4月12日(木)

午後6時30分～9時

場所：KKRホテル東京

孔雀の間

皆様のご参加を
お待ちしております
おります。

訃報

伊藤哲夫様

前大阪医薬品協会理事長、もとゆき会近畿地区幹事を務められていた伊藤哲夫様は、平成30年2月20日ご逝去(享年65歳)されました。

生前のご支援に感謝を申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



もとゆき会 HP:

<http://www.fujii.tv/>

